

会計 部門報告

担当者:堂前智代 補佐:本庄真美子

報告:本庄 真美子

● 概要:

当会の収入、支出の管理をおこなう

● 目的:

- ・ 当会の事業が円滑に進むよう資金面の状況について把握し、提言する
- ・ NPO 法人としての会計の透明性を確保する
- ・ 会の資金使途の優先順位について、会員に問題提起する

● 経過:

- ・ 担当者が毎回運営会議に参加することができず、2 ヶ月に1回程度の運営会議の精算業務を行う 適宜関係先への振込み等を行う
- ・ 会計2人体制で実施
- ・ 決算で昨年度の決算書と現金が数百円合っていなかったことが判明した
- ・ 2020 年度に課題として上がっていた決算書類の形式改善について、コープさっぽろの助成金で新しい会計ソフトを導入することができ、NPO 法人としての提出書類の形式を整えることができた。
- ・ 2022年度もスタッフの尽力で地道に助成金を獲得し事業を行うことができた。予備費は依然として少ないが、ここ数年は収支のバランスを保っている。事務所移転後、家賃が半分以下に抑えられるようになったことも大きいと思われる。

● 課題:

- ・ 2021年度の決算書と現金が合っていなかったことを 1 年間気付かなかったことはたいへん問題と考えている。最終的な確認を複数人で行うことを徹底したい。
- ・ 年度末に一気に入力作業をするため、ミスが起こると考えられる。入力作業の頻度を増やして余裕を持ち業務に当たりたい。
- ・ スタッフが活動しやすいように会計の中間報告を行っていけるよう改善したい。